

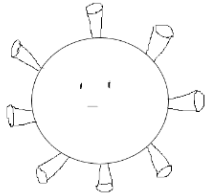
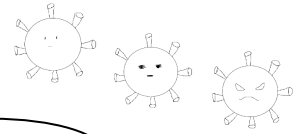


えが お

令和2年5月

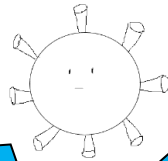
白羽小学校保健室

しんがた 新型コロナウイルスの3つの顔をしよう！



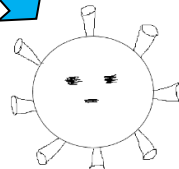
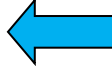
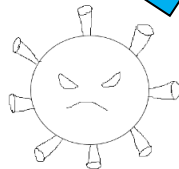
どうも、^{しんがた}新型コロナです。
ぼくが^{ちから}力をつけているのには^{ひみつ}秘密があるんだ。
実は、ぼくには3つの^{かお}顔があるんだ。

しんがた
新型コロナウイルスの
3つの^{かお}顔



だい ^{かんせんしょう}
第1の感染症
^{びょうき}
「病気」

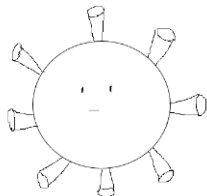
だい ^{かんせんしょう}
第3の感染症
^{さべつ}
「差別」



だい ^{かんせんしょう}
第2の感染症
^{ふあん}
「不安」

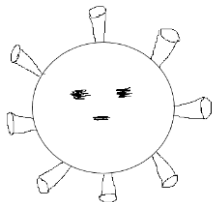
この3つがつながって、どんどんレベルがアップしてきたんだ。

だい ^{かんせんしょう}
第1の感染症
^{びょうき}
病気そのもの



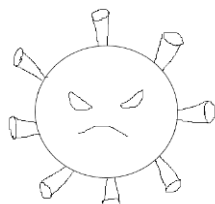
ぼくに^{かんせん}感染すると、^{しょうじょう}かぜの症状や、ひどくなると^{はいえん}肺炎になって^{たいへん}大変な思いをする^{ひと}人もいるよ。
ぼくは、^{ひと}人から^{ひと}人にうつって、^{びょうき}病気の^{ひと}人をどんどん^ふ増やしていくんだ。

だい ^{かんせんしょう}
第2の感染症
^{ふあん}
不安



ぼくはみんなには^み見えな^{ちい}くらい小さいし、ぼくに^{きく}効く^{くすり}薬やワクチンもまだ^{つく}作られてないから、みんな^{ふあん}不安になっているみたい。
みんなを^{ふあん}不安にさせることもぼくの^{ねらい}ねらいなんだ。

だい ^{かんせんしょう}
第3の感染症
^{さべつ}
差別



ぼくが^{げんいん}原因の^{びょうき}病気なのに、^{ふあん}不安が大きくなると、^{ほか}他の^{ひと}人のことを^{わる}悪く言ったり^いけんかをしたりするようになるよ。
そうやってみんなが^{こんらん}混乱して^{ただ}正しい^{よぼう}予防をしないと、ぼくはどんどん^ふ増えていくんだ。

特定の人・地域・職業などに対して、「危険」「ばい菌」などとレッテルを貼って考えてしまうことから、差別や偏見は起こります。

差別や偏見 例えばこんなこと
「あの地域は危ない、あの病院は行かない方がいい、外国人は危険、病院で働いている人には近づかない方がいい、咳をしているあの人がコロナじゃないか…」

特定の対象を見える敵と見なししてしまう（敵がすり替わってしまう）

見える敵を偏見・差別することで一瞬安心感が得られる（本当の敵が見えなくなる）

差別を受けるのが怖くて症状があっても受診しない、隠して人と接してしまう

病気がどんどん広がっていく

みんながんばっている

- ・病院で働いている人
- ・治療を受けている人とその家族
- ・がまんして家で過ごしている人
- ・高齢者
- ・おうちにいる子どもを見てくれたり、ごはんを作ったりしてくれる人
- ・予防しながら仕事をしている人
- ・自分

「手洗い」・「咳エチケット」・「人混みを避ける」を続けて、うわさに振り回されず、「正しい情報」

かどうが見極めましょう。がんばっている自分と他の人をねぎらいましょう。

みんなで力を合わせて戦おう！

考え方をプラスに変えてみる♡

「友達と遊べなくてさみしいな。」

「友達って大事なな。これからもっと大切にしよう。」って気づくことができた！

「今度会ったときに渡せるように手紙を書こう！」

できることに目を向ける👁️

プラスの考えのコツ☆

- ・今だからこそ気づくことができたことを考える。
- ・他の方法でできることを考える。

友達と会えなくても、連絡はできる。テイクアウトでおいしいものが食べられる。運動ができる。

家にいるからやってみた！

みんなの「家にいるからやってみた」
ことを教えてね。

お手伝いしてほめられた。いつも観てなかった話題のテレビ番組を観たからこれで流行に乗れる。
家族の小学生の頃の恥ずかしい話を聞いて笑った。マスクを作ったら意外と才能があった。